本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



●遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。また、＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

防水性　洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳、入浴、洗車時などでのご使用はお避けください。
●防水性能を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。

ショック　通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁気　磁気の影響はありません。

お手入れ　ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

薬品類　水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保管　長時間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

●電池交換について

最初の電池　工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消耗　電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「見にくくなったり」「表示が消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換　電池交換は必らずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必らず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけ下さい。実費にて申し受けます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：時刻・カレンダー表示＝時・分・秒・午前/午後・月・日・曜日
　オートカレンダー（2月28日制）
アラーム機能：スヌーズアラーム(アラーム1)　指定時刻にスティング、指定時刻の5分後、10分後に電子ブザーで報時
　予告アラーム(アラーム2)　指定時刻の10分前、5分前に電子ブザー、指定時刻に交響曲第40番で報時
　ウイークリーアラーム(アラーム3)　指定曜日の指定時刻に涙のトッカータで報時
　マンスリーアラーム(アラーム4)　指定日の指定時刻にビヤ樽ポルカで報時
　時報　毎正時に電子チャイム、正午にはウエストミンスターのチャイムで報時
デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒、計測範囲＝11時間59分59秒99(12時間計)
　計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ計測、1・2着同時計測
セット機構：時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構(±30秒クリア)アラームセット機構、デュアルタイムセット機構
その他：12時間制/24時間制表示切替機能、自動復帰機能、メロディーデモンストレーション機能
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：リチウム電池BR-2020（電池別途販売）
電池寿命：約3年（1日当り、ライト1秒間点灯、メロディー(電子ブザー)を30秒使用した場合）

JASPAC T-6B0653

ストップウオッチの使い方……操作のしくみにしたがい、Ⓒボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

確認　⇨　CHR(モードマークの点灯)



ストップウオッチは1/100秒単位で11時間59分59秒99まで計測でき(12時間計)、以後自動的に0に戻って計測し続けます。
またリセット状態(表示0)からスタートさせると「ウイリアム・テル序曲」(ロッシーニ作曲)が約6秒鳴ります。

★計測のしかた……Ⓐボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

●通常の計測

Ⓐ スタート ⇒ Ⓐ ストップ ⇒ Ⓛ リセット

※積算計測……ロスタイムのある場合にはストップ後、リセットせずに再スタート(Ⓐボタンを押す)すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●ラップタイム(途中経過時間)の計測

Ⓐ スタート ⇒ Ⓛ ラップ計測 ⇒ Ⓛ ラップ解除 ⇒ Ⓐ ストップ ⇒ Ⓛ リセット

●1着・2着のタイム計測

Ⓐ スタート ⇒ Ⓛ 1着がゴール(1着タイム表示) ⇒ Ⓐ 2着がゴール ⇒ Ⓛ 2着タイム表示 ⇒ Ⓛ リセット

★インターバルチャイム
ストップウオッチモードで計測中は経過単位が分単位(1分、2分、3分…)になるごとに電子チャイムが〝ピッ〟と鳴ります。

秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

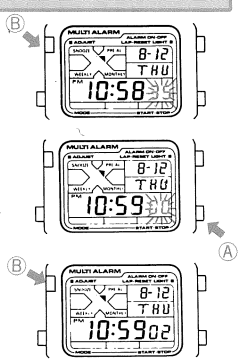
(1)時刻表示のとき、Ⓑボタンを押すと〝秒〟が点滅します。

(2)時報に合わせて、Ⓐボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話 117番」が便利です。

(3)Ⓑボタンを押すと点滅は止まり、時刻表示に戻ります。



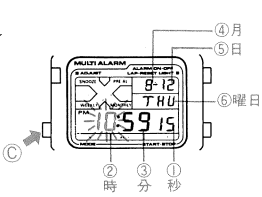
時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後など時刻やカレンダーが合っていない場合は以下の方法で合わせてください。

(1)時刻表示のとき、Ⓑボタンを押すと〝秒〟が点滅します。

(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。
※点滅個所が修正可能です。

① 秒 Ⓒ ② 時 Ⓒ ③ 分 Ⓒ ④ 月 Ⓒ ⑤ 日 Ⓒ ⑥ 曜日 Ⓒ



(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅している表示が1つずつ進みます。
※押し続けると早送りができます。



Ⓒボタンで修正個所を点滅させ、Ⓐボタンで表示を修正する操作をくりかえしおこない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注1)「時」のセットのとき、午前/午後、24時間制にご注意ください。
注2) 24時間制のときも同じ方法で合わせられます。

(4)合わせ終わったら(どの個所が点滅していても)、Ⓑボタンを押すと時刻表示に戻ります。



●カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですのでうるう年の2月29日以外は修正不要です。

●鳴っているメロディー、電子ブザーを止めるにはⓁボタンを押します。
●他モードへの切替え
ストップウオッチを使用中にⒸボタンを押して他のモードにしてもその機能には一切影響ありません。ただしラップ計測時（LAPが点灯）にこの操作をしますとラップは解除されます。
●自動復帰機能
アラーム時刻などのセットで表示を点滅させたままにした場合、2～4分後、自動的にセット前の表示に戻ります。

優先順位について
セットされたアラームの優先順位は
①アラーム1(メロディー) ②アラーム2(メロディー) ③アラーム3 ④アラーム4 ⑤アラーム1(スヌーズ音) ⑥アラーム2(予告音) ⑦時報(メロディー) ⑧時報(チャイム) ⑨操作確認音およびメロディーデモンストレーションです。

●ご使用上の注意

温度　直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

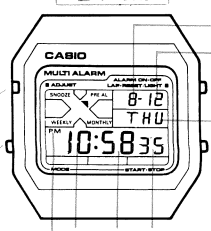
時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに ⇨ の順でモードが切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)
※詳しくは各モードの項目をご覧ください。

時刻モード

基本時刻



〈曜日の見方〉

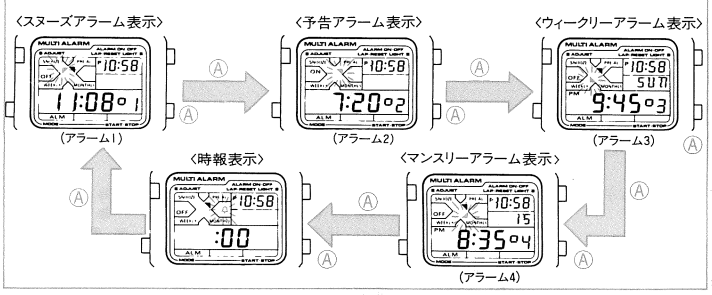
SUN—日	THU—木
MON—月	FRI—金
TUE—火	SAT—土
WED—水	

Ⓐボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示(24Hが点灯)とが切替わります。

アラームモード　デュアルタイムモード　ストップウオッチモード



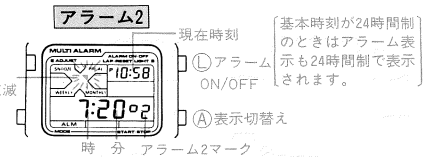
アラームモード(ALM)ではⒶボタンを押すごとに⇨の順で表示が切替わります。
(押すごとに表示に該当するメロディーが鳴ります)※詳しくはアラーム機能の使い方をご覧ください。



アラーム機能の使い方…操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、アラームモードにします。

確 認 ⇨ ALM(モードマークの点灯)

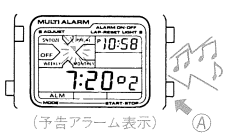
本機には4種類のアラームと毎正時を知らせる時報があり、同時にその機能を使用することもできます。



アラーム名	インジケーター	機　能	報 知 音
スヌーズアラーム	SNOOZE	指定時刻にメロディーその5分後、10分後に各5秒間電子ブザー*が鳴ります。	スティング (Scott Joplin作曲) *ピピピ……
予告アラーム	PRE AL	指定時刻の10分前に6秒間、5分前に3秒間の電子ブザー**、指定時刻にメロディーが鳴ります。	交響曲第40番 (Mozart作曲) **ピンポーン……
ウイークリーアラーム	WEEKLY	曜日と時刻を指定でき、指定した時刻になるとメロディーが鳴ります。(週に1度鳴らすことができます)※毎日鳴らすことも可能	涙のトッカータ (Gaston Rolland作曲)
マンスリーアラーム	MONTHLY	日付(1～31)と時刻を指定でき、指定した時刻になるとメロディーが鳴ります。(月に1度鳴らすことができます)※毎日鳴らすことも可能	ビヤ樽ポルカ (J.Vejvoda作曲)
時　報		毎正時(00分のとき)に電子チャイム、正午には ウエストミンスターのチャイムで知らせます。	ピンポーン ウエストミンスターのチャイム (Ernst Toch作曲)

●セットのしかた

(1)Ⓐボタンを押してセットしたいアラーム表示(アラーム1～4)にします。
※デモンストレーションとして表示に該当するメロディーが鳴ります。

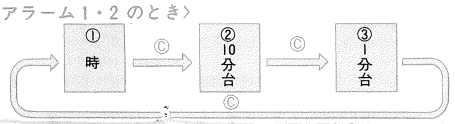


(2)Ⓑボタンを押すと「時」が点滅します。

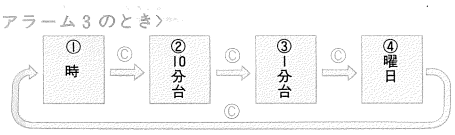


(3)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。
※点滅個所がセット可能です。

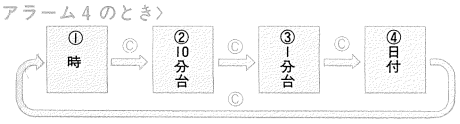
〈アラーム1・2のとき〉



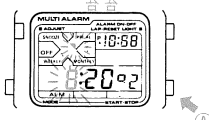
〈アラーム3のとき〉



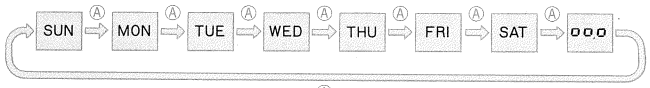
〈アラーム4のとき〉



(4)(点滅個所が)Ⓐボタンを押すごとに1つずつ進みます。Ⓐボタンでアラームを鳴らしたい時刻にします。(押し続けると早送りができます)
※基本時刻を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも24時間制でおこないます。

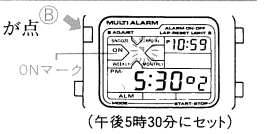


●アラーム3の「曜日」はⒶボタンを押すごとに以下のように表示が変わります。Ⓐボタンで指定したい曜日にします。
※〝ooo〟にしておくと毎日その時刻になるとメロディーが鳴ります。



●アラーム4の「日付」はⒶボタンを押すごとに表示が……1、2、3、……29、30、31、oo、1、2、3……と変わります。Ⓐボタンで指定したい日付にします。
※〝oo〟にしておくと毎日その時刻になるとメロディーが鳴ります。

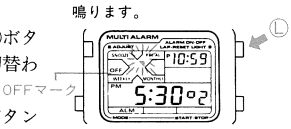
(5)Ⓑボタンを押すと点滅が止まり、〝ON〟マークが点灯してセット完了です。



これで午後5時20分、午後5時25分に電子ブザー、午後5時30分に交響曲40番が鳴ります。

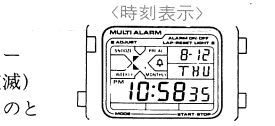
●アラーム・時報のON/OFF

アラーム表示(アラーム1～4)、時報表示のときⓁボタンを押すごとに〝ON〟マークと〝OFF〟マークが切替わります。
アラームを使わないときはその表示のときにⓁボタンを押して〝OFF〟にしておきます。



●アラームインジケーターについて

アラームモードでは表示に該当するインジケーター〝▲〟が点滅します。(時報表示のときは〝🔔〟が点滅)
アラームモード以外では、アラーム1～4がONのとき該当するインジケーター〝▲〟が点灯します。(時報ONのときは🔔が点灯)



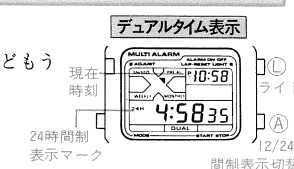
●メロディーデモンストレーション

アラームモード(アラーム1～4、時報)のとき、Ⓐボタンを押して表示を切替えるごとに表示に該当するメロディーが鳴ります。

デュアルタイムの使い方…操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

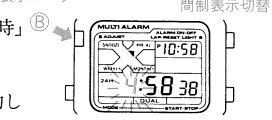
確 認 ⇨ DUAL(モードマークの点灯)

デュアルタイムとは基本時刻のほかに海外時刻などもう一つの時刻をセットできる機能です。

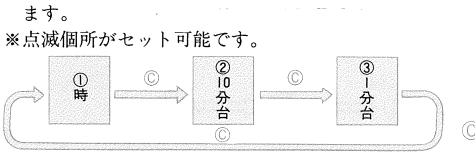


●セットのしかた

(1)デュアルタイムモードのときⒷボタンを押すと「時」が点滅します。



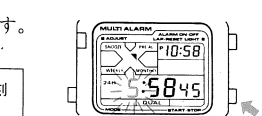
(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。
※点滅個所がセット可能です。



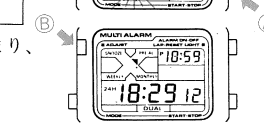
㊟秒は基本時刻の秒と連動していますので合わせる必要はありません。

(3)Ⓐボタンを押すごとに(点滅個所が)1つずつ進みます。
※押し続けると早送りができます。

Ⓒボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンで合わせたい時刻にします。



(4)合わせ終わったら、Ⓑボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。



●12/24時間制切替え

Ⓐボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示とが切替わります。基本時刻とは別に切替えができますので、基本時刻を12時間制、デュアルタイムを24時間制にしておくこともできます。